



2022年11月7日

各 位

上場会社名 矢作建設工業株式会社
代表者名 取締役社長 高柳 充広
(コード番号 1870 東証プライム・名証プレミア)
本社所在地 名古屋市東区葵三丁目19番7号
問合せ先責任者 コーポレート本部
経理部長 佐口 芳樹
TEL 052-935-2348

I R資料 当社グループの経営現況について

2023年3月期第2四半期連結決算

当社グループの2023年3月期第2四半期連結決算の概要と経営現況を以下の通りまとめましたので、ご参照下さい。

○目次

I.	連結損益の状況について	1
1.	連結経営成績	1
2.	受注高、次期繰越高総括	2
3.	業績予想との比較	2
II.	事業別の概況	3
1.	建築工事	3
2.	土木工事	4
3.	不動産事業	5
III.	連結財政状態	6
IV.	通期予想について	7
V.	配当について	7
VI.	参考情報	8
1.	受注高、売上高及び次期繰越高（連結）	8

I. 連結損益の状況について

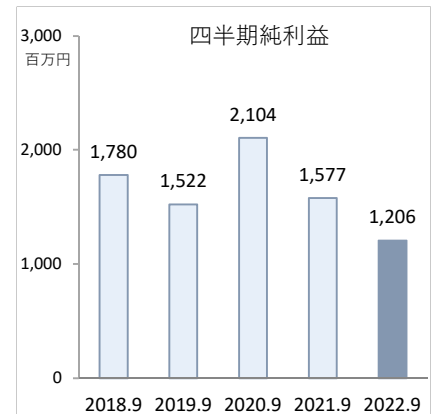
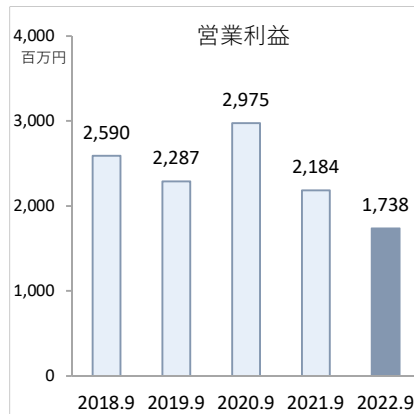
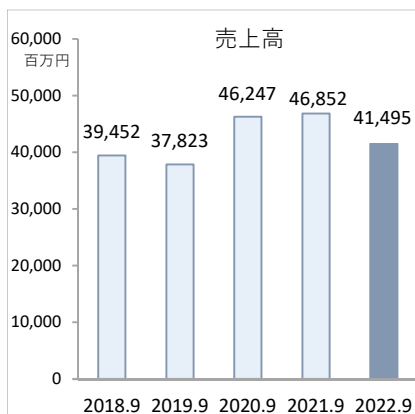
1. 連結経営成績

<売上高>	
建設事業	: 2023年3月期第2四半期（当期）は、建築工事の期首手持ち工事の中で2022年3月期の終盤に受注した工事の割合が高く、その施工が本格化するのが当下半期以降となるため、大型工事の施工が進捗していた前年同四半期（前期）に比べ68億円の減収。
不動産事業	: 自社開発の産業用地販売が寄与し、前期比15億円の増収。
合計	: 建設事業の減収幅が大きく、売上高全体では前期比53億円の減収。
<利益>	
建設事業	: 減収の影響により、完成工事総利益は前期比6億円の減益。
不動産事業	: 自社開発の産業用地販売による増収効果により、不動産事業等総利益は前期比6億円弱の増益。
合計	: 売上総利益は若干の減益に留まるも、ベースアップによる人件費の増加や本社ビル内装リニューアル費用の計上などにより販売費及び一般管理費が4億円増加し、営業利益以下においても利益減。

□ 連結経営成績

（単位：百万円）

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
売上高	39,452	37,823	46,247	46,852	41,495	▲ 5,356	▲ 11.4%
完成工事高	36,434	33,419	38,418	42,614	35,715	▲ 6,898	▲ 16.2%
不動産事業等売上高	3,017	4,403	7,829	4,237	5,779	1,541	36.4%
売上総利益	6,389	6,143	6,943	6,013	5,995	▲ 18	▲ 0.3%
(売上総利益率)	(16.2%)	(16.2%)	(15.0%)	(12.8%)	(14.4%)		1.6pt
完成工事総利益	5,037	4,785	4,827	4,603	4,003	▲ 600	▲ 13.0%
不動産事業等総利益	1,351	1,357	2,115	1,410	1,992	582	41.3%
販売費及び一般管理費	3,799	3,855	3,967	3,829	4,257	427	11.2%
営業利益	2,590	2,287	2,975	2,184	1,738	▲ 446	▲ 20.4%
(営業利益率)	(6.6%)	(6.0%)	(6.4%)	(4.7%)	(4.2%)		▲ 0.5pt
経常利益	2,645	2,357	3,058	2,211	1,775	▲ 435	▲ 19.7%
(経常利益率)	(6.7%)	(6.2%)	(6.6%)	(4.7%)	(4.3%)		▲ 0.4pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,780	1,522	2,104	1,577	1,206	▲ 370	▲ 23.5%
(四半期純利益率)	(4.5%)	(4.0%)	(4.5%)	(3.4%)	(2.9%)		▲ 0.5pt



2.受注高、次期繰越高総括

<受注高>

土木工事は複数の大型工事の受注が集中した前期に比べ減少。一方、建築工事は大型物流施設や工場の受注があり、全体としては前期比55億円の増加。

<次期繰越高>

2022年3月期の終盤に受注した大型の手持ち工事に、新規受注高が増加したことで、当下半期以降の売上高に寄与する次期繰越高も前期比254億円の増加。

□ 受注高

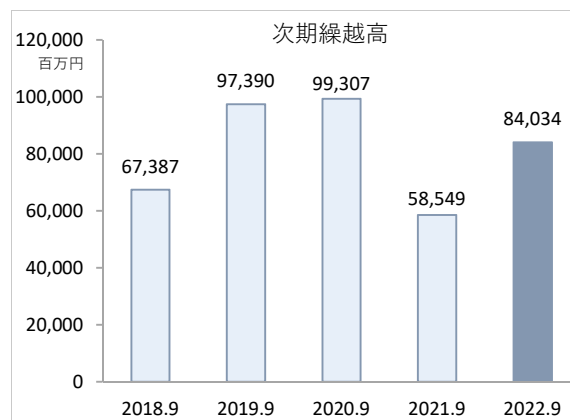
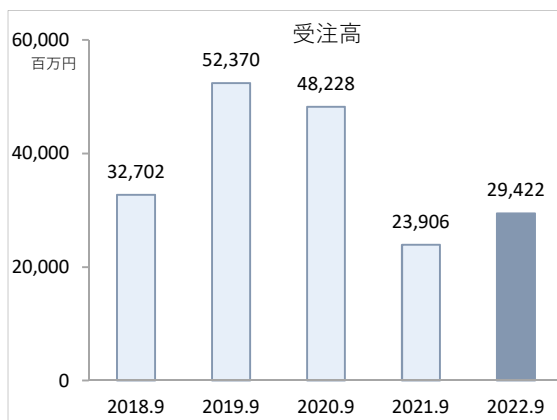
(単位:百万円)

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
建築工事	17,650	39,447	38,580	7,474	17,444	9,969	133.4%
土木工事	15,051	12,922	9,648	16,432	11,978	▲ 4,453	▲ 27.1%
合計	32,702	52,370	48,228	23,906	29,422	5,516	23.1%

□ 次期繰越高

(単位:百万円)

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
建築工事	34,453	63,012	70,751	30,144	56,955	26,810	88.9%
土木工事	32,934	34,378	28,556	28,405	27,079	▲ 1,325	▲ 4.7%
合計	67,387	97,390	99,307	58,549	84,034	25,484	43.5%



3.業績予想との比較

<業績予想との比較>

2022年5月10日に公表した業績予想に対し、概ね予定通りに着地。

□ 業績予想との比較

(参考) 2023年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想・実績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
業績予想(2022.5.10公表)	41,500	1,800	1,800	1,200
実績	41,495	1,738	1,775	1,206

Ⅱ. 事業別の概況

1. 建築工事

<受注高>

大型物流施設や工場などの受注が寄与し、前期比99億円の増加。

<売上高>

期首手持ち工事の中で2022年3月期の終盤に受注した工事の割合が高く、その施工が本格化するのが当
下半年以降となるため、大型工事の施工が進捗していた前期に比べ、72億円の減収。

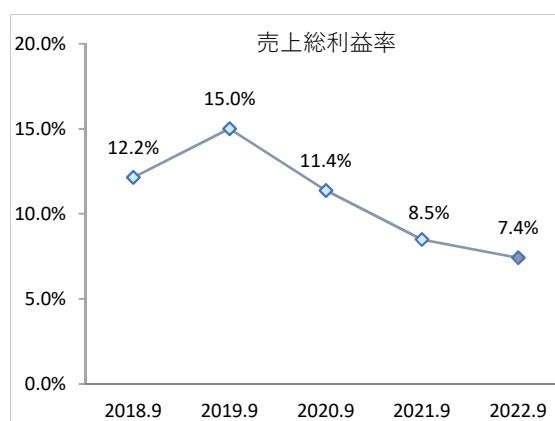
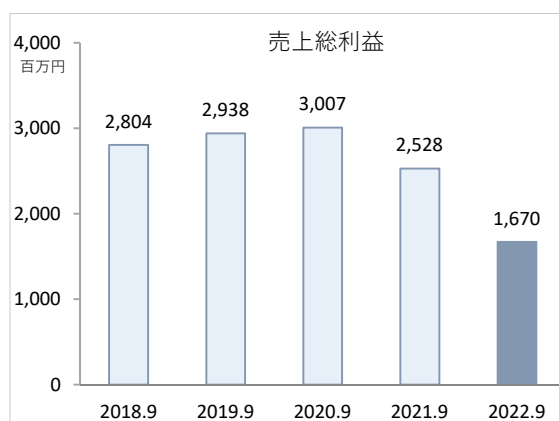
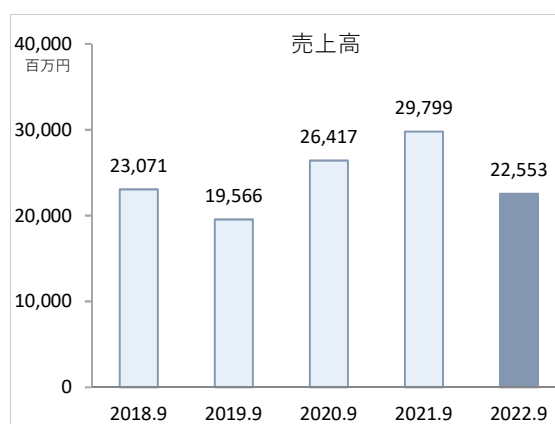
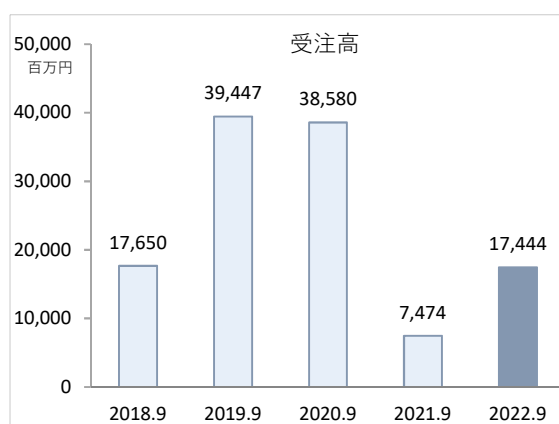
<売上総利益>

減収の影響により、前期比8億円の減益。

□ 受注高・売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結受注高	17,650	39,447	38,580	7,474	17,444	9,969	133.4%
連結売上高	23,071	19,566	26,417	29,799	22,553	▲ 7,246	▲ 24.3%
連結売上総利益	2,804	2,938	3,007	2,528	1,670	▲ 858	▲ 33.9%
連結売上総利益率	12.2%	15.0%	11.4%	8.5%	7.4%		▲ 1.1pt



2. 土木工事

<受注高>

官庁工事や民間の造成工事、鉄道土木工事などの大型工事の受注が集中した前期に比べ、44億円の減少。

<売上高>

官庁工事を中心に期首手持工事の施工が順調に進捗したことから前期比3億円の増収。

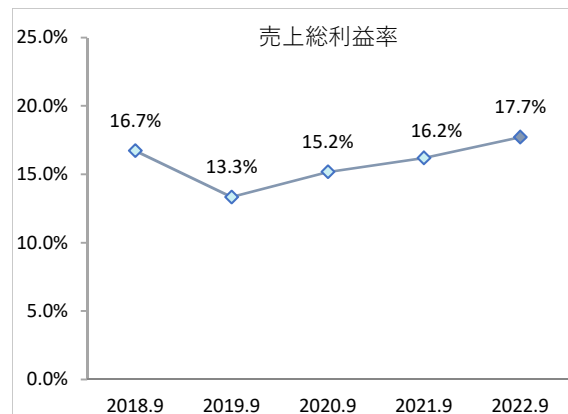
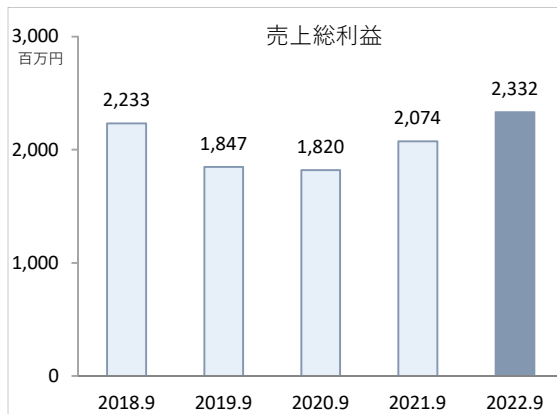
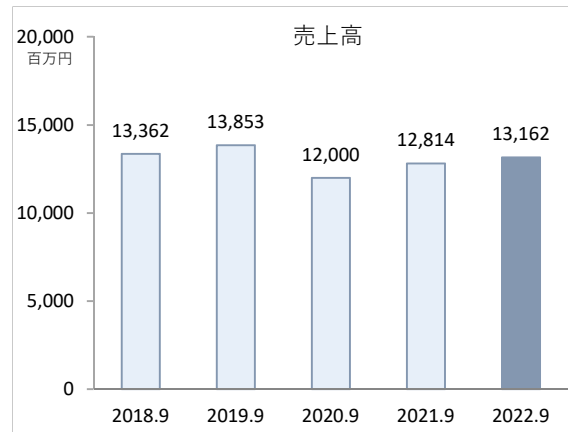
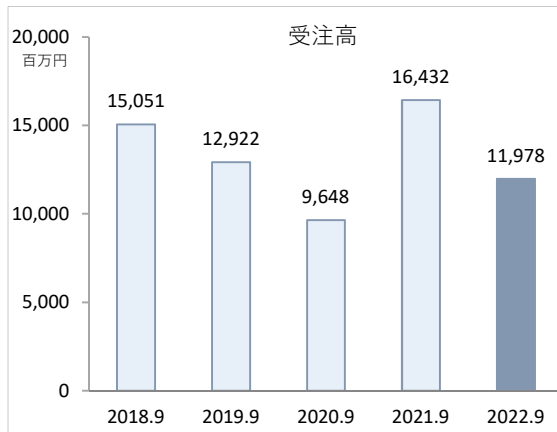
<売上総利益>

工事採算の改善により、前期比2億円の増益。

□ 受注高・売上高・売上総利益等の状況

(単位:百万円)

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結受注高	15,051	12,922	9,648	16,432	11,978	▲ 4,453	▲27.1%
連結売上高	13,362	13,853	12,000	12,814	13,162	347	2.7%
連結売上総利益	2,233	1,847	1,820	2,074	2,332	257	12.4%
連結売上総利益率	16.7%	13.3%	15.2%	16.2%	17.7%		1.5pt



3. 不動産事業

<売上高>

自社開発の産業用地販売が寄与し、前期比15億円の増収。

<売上総利益>

増収効果により、前期比6億円弱の増益。

<分譲マンション事業>

前期と同様、当上半期に新規供給物件がなく完成在庫の販売に留まり引渡戸数は前期比9戸の減少。
一方、契約戸数については新規供給物件の契約が好調だったことから、前期比35戸の増加。

□ 売上高・売上総利益等の状況

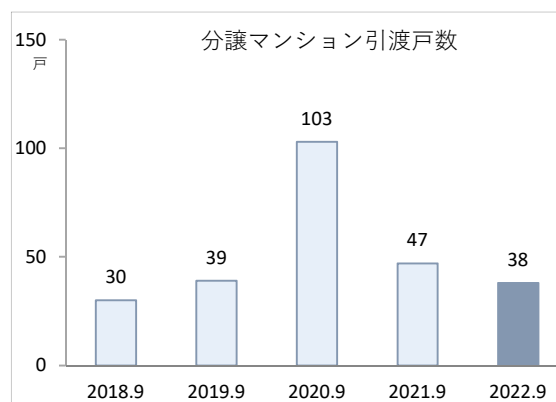
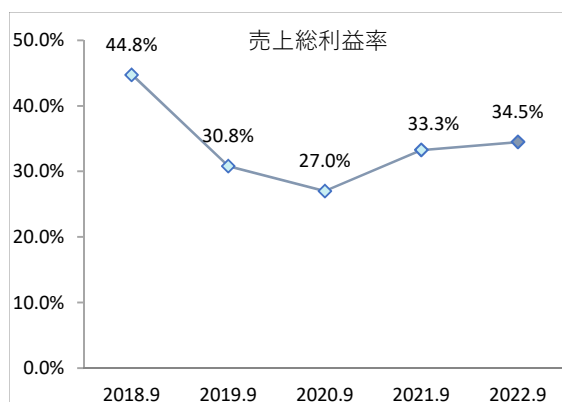
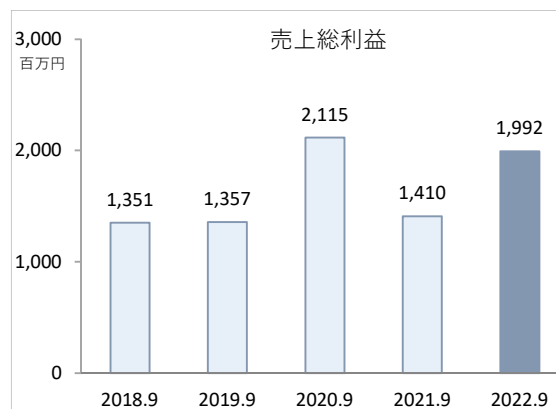
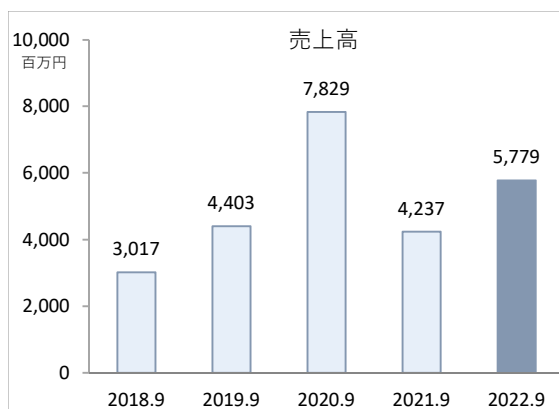
(単位:百万円)

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
連結売上高	3,017	4,403	7,829	4,237	5,779	1,541	36.4%
連結売上総利益	1,351	1,357	2,115	1,410	1,992	582	41.3%
連結売上総利益率	44.8%	30.8%	27.0%	33.3%	34.5%		1.2pt

□ 分譲マンションの実績

(当社持分)

	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	前期比	
	実績	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
引渡戸数	30戸	39戸	103戸	47戸	38戸	▲9戸	▲19.1%
契約戸数	110戸	107戸	62戸	71戸	106戸	35戸	49.3%



Ⅲ. 連結財政状態

<貸借対照表>

総資産 : 工事の施工の進捗に伴い未成工事支出金が20億円増加したものの、完成工事未収入金の回収が進み、売上債権が41億円減少したことなどにより、総資産は35億円の減少。

負債 : 借入金の返済を進めたことなどにより、38億円の減少。

純資産 : 四半期純利益の計上などにより3億円増加。

□ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部		2022.3 実績	2022.9 実績	増減
流動資産	現金預金	22,011	20,584	▲ 1,426
	売上債権	32,808	28,690	▲ 4,118
	未成工事支出金	2,534	4,613	2,078
	販売用不動産	19,884	19,987	102
	その他	3,195	3,082	▲ 113
	合計	80,435	76,957	▲ 3,477
固定資産	有形固定資産	27,272	27,145	▲ 127
	無形固定資産	390	380	▲ 9
	投資その他の資産	8,326	8,350	24
	合計	35,988	35,876	▲ 112
資産合計	116,423	112,834	▲ 3,589	

負債の部		2022.3 実績	2022.9 実績	増減
流動負債	支払債務	10,394	12,896	2,501
	短期借入金	25,400	21,000	▲ 4,400
	未成工事受入金	4,780	4,055	▲ 724
	その他	4,573	3,543	▲ 1,029
	合計	45,148	41,495	▲ 3,652
固定負債	長期借入金	5,000	4,900	▲ 100
	その他	8,743	8,597	▲ 145
負債合計	58,891	54,992	▲ 3,898	
純資産	57,532	57,841	309	
負債・純資産合計	116,423	112,834	▲ 3,589	

IV. 通期予想について

- 2023年3月期の通期予想は、2022年5月10日公表値からの変更はなく、売上高1,070億円（過去最高）、営業利益60億円、当期純利益41.5億円を見込む。

<売上高>

- 建設事業：当期は、豊富な期首手持ち工事を持ってスタートし、当下半期以降、大型物流施設工事を中心に、その施工が本格化することから、前期実績を上回る見込み。
- 不動産事業：分譲マンション事業は引渡戸数の増加を見込んでいるものの、不動産事業全体としては前期実績と同水準となる見込み。
- 合計：建設事業が大幅な増収となることで、売上高全体では前期実績を大きく上回る見込み。

<利益>

- 建設事業：増収効果があるものの、資材価格高騰の影響などにより前期実績と同水準となる見込み。
- 不動産事業：分譲マンション事業の増収の影響などにより、前期実績を上回る見込み。
- 合計：売上総利益では前期実績を上回る見込みである一方、ベースアップによる人件費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益、経常利益は前期実績と同水準となる見込み。当期純利益は特別利益の計上があった前期実績を下回る見込み。

□ 2023年3月期連結通期予想

(単位:百万円)

	2022.3 実績	2023.3 通期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	93,090	107,000	13,910	14.9%
営業利益 (営業利益率)	6,169 (6.6%)	6,000 (5.6%)	▲ 169	▲ 2.7% ▲ 1.0pt
経常利益 (経常利益率)	6,174 (6.6%)	6,000 (5.6%)	▲ 174	▲ 2.8% ▲ 1.0pt
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	4,842 (5.2%)	4,150 (3.9%)	▲ 692	▲ 14.3% ▲ 1.3pt

□ 中期経営計画数値目標(2025年度)

- 売上高(連結) 1,300億円
- 営業利益(連結) 100億円

V. 配当について

- 中間配当は公表値どおり1株当たり19円の普通配当とし、これに期末配当予想19円を加え、年間配当38円とする予定。

	2018.3実績	2019.3実績	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績	2023.3予想
中間配当金	12円	12円	16円	17円	17円	(実績) 19円
期末配当金	12円	16円	18円	17円	21円	19円
年間配当金	24円	28円	(※) 34円	34円	38円	38円
配当性向(連結)	25.5%	27.1%	28.6%	44.8%	33.9%	39.4%

(※) 創立70周年記念配当4円を含む

VI. 参考情報

1. 受注高、売上高及び次期繰越高(連結)

□ 受注高

(単位:百万円)

区分			2021.9 実績	2022.9 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	7,474	17,444	9,969	133.4%
		計	7,474	17,444	9,969	133.4%
	土木	官庁	4,311	5,388	1,076	25.0%
		民間	12,120	6,589	▲ 5,530	▲ 45.6%
		計	16,432	11,978	▲ 4,453	▲ 27.1%
	合計	官庁	4,311	5,388	1,076	25.0%
		民間	19,594	24,034	4,439	22.7%
		計	23,906	29,422	5,516	23.1%

□ 売上高

(単位:百万円)

区分			2021.9 実績	2022.9 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	29,799	22,553	▲ 7,246	▲ 24.3%
		計	29,799	22,553	▲ 7,246	▲ 24.3%
	土木	官庁	4,203	4,819	615	14.6%
		民間	8,611	8,343	▲ 267	▲ 3.1%
		計	12,814	13,162	347	2.7%
	小計	官庁	4,203	4,819	615	14.6%
		民間	38,411	30,896	▲ 7,514	▲ 19.6%
	小計	42,614	35,715	▲ 6,898	▲ 16.2%	
	不動産事業等			4,237	5,779	1,541
合計			46,852	41,495	▲ 5,356	▲ 11.4%

□ 次期繰越高

(単位:百万円)

区分			2021.9 実績	2022.9 実績	前期比	
					増減額	増減率
工事	建築	官庁	—	—	—	—
		民間	30,144	56,955	26,810	88.9%
		計	30,144	56,955	26,810	88.9%
	土木	官庁	9,426	10,510	1,083	11.5%
		民間	18,978	16,569	▲ 2,409	▲ 12.7%
		計	28,405	27,079	▲ 1,325	▲ 4.7%
	合計	官庁	9,426	10,510	1,083	11.5%
		民間	49,123	73,524	24,401	49.7%
		計	58,549	84,034	25,484	43.5%